

2016年11月から始まった「第40次国会請願・署名」のとりくみ

お疲れさまでした！

2017.7.25 by きょうされん組織・運動委員会

本格的な冬にむかう11月から、初夏にむかう6月までの半年間かけて、全国各地での国会請願署名・募金のとりくみ本当にお疲れさまでした。

7月25日、全国から集まった国会請願署名は1,116,703筆、募金は32,895,397円となりました。

第40次国会請願署名にとりくんでいただいたみなさんに、以下ご報告いたします。

◆第40次国会請願署名の紹介議員

・両院請願課で受理された署名数は979,577筆、紹介議員は308人です。

・衆議院：638,093筆	紹介議員	199人
・参議院：341,484筆	紹介議員	109人

・全都道府県、全会派の国会議員に紹介議員になっていただくことができました。

会派	紹介議員	議員数	紹介議員%
自由民主党	120	419	29%
民進党	101	146	69%
公明党	21	60	35%
日本共産党	35	35	100%
日本維新の会	11	27	41%
希望の会（自由・社民）	5	6	83%
無所属クラブ	2	4	50%
沖縄の風	2	2	100%
自由党	2	2	100%
社会民主党・市民連合	2	2	100%
無所属	7	13	54%
	308	716	43%

◆第40次国会請願署名の審査結果

・第40次国会請願署名は、衆議院・参議院ともに「保留」となりました。

・きょうされんの請願がどのような形で審議をされたのかを民進党、共産党の議員事務所に問い合わせ、聞き取った内容をご報告します。

■衆議院

6月15日(木)15時から、請願担当者会議(翌日の厚労委員会にて採択する請願について協議する会議)が開催され、自民、公明、共産、維新の各会派の厚労委員の代表理事が集まり協議しました。民進は欠席でした。

共産党は採択を主張しましたが、与党より、

項目2:介護保険優先原則および項目3:日割りの問題が受け入れられない、

項目5:予算の関連で先進諸国と単純には比べられないという意見が述べられ、

全会派の一致が見られず、衆議院では「保留」とされました。

衆議院厚労委員会に付託された44件の請願のなかで、

- ・腎疾患総合対策の早期確立に関する請願
- ・難病・長期慢性疾患・小児慢性特定疾病対策の総合的な推進に関する請願
- ・線維筋痛症に対する医科と歯科の共同研究に関する請願

の3件が採択されたそうです。

■参議院

6月16日(金)、厚生労働委員会にて41本の請願の一括審議となり。そのなかで4件が採択。それ以外の「保留」が決まりました。

採択する請願は、厚生労働委員会の事前の理事会で、各党が採択すべきとする請願を持ち寄り、全会一致するものを選びます。衆議院のように、具体的に採択に推さない請願の何が引っかかるのかの議論はないそうです。委員会によっては議論を抜きにする委員会もありますが、厚労委員会は、一致できるものはないかの議論をするとのこと。

参議院厚労委員会に付託された41件の請願のなかで、

- ・腎疾患総合対策の早期確立に関する請願
- ・難病・長期慢性疾患・小児慢性特定疾病対策の総合的な推進に関する請願
- ・実勢単価に見合った保育所等整備交付金の維持・拡充等に関する請願
- ・てんかんのある人とその家族の生活を支えることに関する請願

の4件が採択されたそうです。

第40次国会請願署名は、採択されませんでした。全国各地でとりくんでいただいたみなさんには、残念なご報告となってしまいました。

一方で、全都道府県および全会派の国会議員が、紹介議員となってくれました。これらのごことや、今年も100万筆以上の署名が集まったこと、署名を通じて新しいつながりができたことは、わたしたちの確信となりました。障害のある人の働くことやくらしが実現できる地域、そしてそれを支える制度を実現させるため、40年以上続いてきた署名・募金という地道なとりくみを今後も続けていきましょう。

国会請願署名・募金でひろがったつながりを、今度はもう一歩踏み出して賛助会員にぜひお誘いしてみてください♪